



はまぐち よしこ  
濱口 芳子さん (明治43年8月22日生まれ:夜須町)

6人の子どもを育てたことが一番の自慢。  
好きな言葉は「有りがとう」。

芳子ちゃん100歳おめでとう!  
よくここまでがんばってきましたね。  
大きな病気もせず天然はひといけぽけもせず。  
一人で着替えて、一人で風呂にも入る。  
電話番号はできないけれど、お留守番も出来る。  
元気でいてくれてありがとうございます。  
これからも元気で長生きしてね。

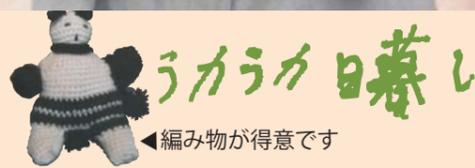
今年8月、満100歳を元気に  
迎え、娘さんやお孫さんに囲ま  
れた賑やかなお誕生日のパー  
ティーを楽しんだ濱口さん。  
お孫さんたちが、左のお祝い  
のメッセージとともに芳子おば  
あちゃんの100歳の記念誌を作  
りました。



残りの歯はあと7本。何でも食べます。



畑が大好き。いろいろな仕事がある  
ので、休み休みやります。



うカラカ日暮し

編み物が得意です



# 敬老の日を寿ぐ

9月20日は敬老の日。

「お年寄りの知恵を借りて村づくりを」と、ある兵庫県の村長が  
昭和22年に始めた村づくりの集いが敬老の日の起源です。

9月18日(土)、市では、今年度に喜寿、米寿、白寿を迎えられ  
る方と百歳以上の方を対象に、敬老式典を開催し、仙頭市長から  
記念品の贈呈や舞台での余興など、長寿を祝福しました。  
また、各地区では、手作りの敬老会が年々広がり、今年には野市  
町の大谷地区など6地区を加え、心づくしの会が市内35地区で和  
やかに開催されました。

お酒が入り、話に花が咲き出すと主催者側のメンバーが高齢者  
の方に杯を勧められ「なんじゃ。まったいのう」と、気合いを入れ  
られる場面も。

久しぶりに地域で集まった高齢者の皆さんの笑顔に、開催に汗  
した民生委員や女性会、高齢者クラブや町内会など、各種団体の  
皆さんも「喜んでもらえて良かった」と嬉しそうでした。



## 100歳バンザイ!

今年度、香南市には100歳を超えられる方が30人おられます。  
ご紹介するお2人は、この夏、元気に100歳を迎えられました。

かわくぼ ゆきしげ  
川久保 幸重さん (明治43年7月13日生まれ:夜須町)

好きな言葉は「良心」。農業の将来が心配です。

私は農家ですき、今でもちよくちよく畑で野菜の世話をしよります。  
食べ物に嫌いはないです。自分のことは何でも自分でします。お酒  
も、タバコもやりません。17歳の時に青年団の料理役を任されたおかげ  
で、料理が得意になって、今でもたまに、畑で採ってきた野菜やら、  
自分で買って来たもので料理をします。小さいころは病弱でしたが、近  
ごろは無理をせんとゆっくりさせてもらいよりますき、お陰さまで大き  
な病気もしません。昔、易者に寿命を占ってもらったら80歳と言われ  
ちよりましたが、これからは五体が満足いくまで頑張りたいと思ひよ  
ります。



耳はめっそう聞こえませんが、新聞は毎日  
読みよります。農家の後を継ぐ者がおらん  
なって田畑が荒れて廃っていきよります。年寄  
りの寝言ですけれど、農家が自分の食べる米  
を買う時代になって、農業が衰退しちゆうよう  
に思ひます。

今の若い人らあには、水の国の農業を衰  
退させんように頑張ってもらひたいです。



野矢佐川がすき



## まち一番のご長寿103歳

香南市には、元気な高齢者の方が大勢おられます。75歳以上の  
方は5,236人で、最高齢は野市町の長野鶴亀さん、103歳です。

ながの つるぎ  
長野 鶴亀さん (明治39年12月2日生まれ:野市町)

3人の子どもを育てられた鶴亀さんは、今で  
は4人のお孫さんと6人のひ孫さんに恵ま  
れ、最長寿のときを重ねられています。

世話好きで、しっかりものの鶴亀さんを頼っ  
て、以前は相談などに家に来る人が絶えな  
かったそうです。また、きれい好きで、家の周りや  
道路など、目につく所の草引きに余念がなく、  
お裁縫が得意で、家族の繕い物は鶴亀さん  
の手でいつの間にかきれいになっていたとい  
うことです。

現在は、市内の福祉施設で穏やかな毎日を  
送っています。

